

会 議 録

会議の名称	令和元年度第3回行田市総合教育会議
開催日時	令和元年11月12日(火) 開会：午後2時 閉会：午後3時55分
開催場所	行田市郷土博物館 2階 会議室
出席者(委員) 氏名	石井直彦市長、鈴木トミ江教育長、岸田昌久委員、 鹿山高彦委員、大久保英子委員、飯塚千十世委員
欠席者(委員) 氏名	なし
事務局	石川副市長 学校教育部：江利川学校教育部長、荻原学校教育課長、 諸貫教育総務課長 生涯学習部：藤井生涯学習部長 健康福祉部：夏目健康福祉部長、五十嵐子ども未来課長、 上野子ども未来推進幹 総合政策部：畔上総合政策部長、菅原企画政策課長、 川上企画政策課主幹、渋澤企画政策課主任
会議内容	議事 (1) 学力向上策について (2) いじめ対策及び不登校の児童・生徒への対応について (3) その他
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会議次第 ・ 総合教育会議構成員名簿 ・ 資料1 学力向上で成果をあげている主な取組 ・ 資料2 行田市におけるいじめ対策及び不登校の児童・生徒への対応について ・ (参考資料) 行田市教育大綱 ・ (参考資料) 行田市総合教育会議設置要綱
その他必要事項	傍聴者 5名

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
司 会	1 開会 2 市長あいさつ 3 議事
司 会	<ul style="list-style-type: none"> ・続いて、次第の3「議事」に入る前に、会議の公開・非公開に関する取扱いについて確認させていただく。本日の会議は、議事の中で個人情報を取り扱う予定がないことから、原則公開とさせていただく。また、会議録の作成は要点筆記とし、委員名を明記の上、市政情報コーナー及び市ホームページにおいて公開させていただく。 ・それでは、本日の「議事」に入る。進行については、要綱第4条第1項の規定により、会議の議長は市長が務めることとなっていることから、ここからは石井市長に議事の進行をお願いする。
議 長	<ul style="list-style-type: none"> ・それでは、暫時、議長を務めさせていただく。議事に入る前に、鹿山委員から報告があるとのことなのでお願いする。
鹿山委員	<p>< 10月7日、8日に富山国際会議場で行われた令和元年度市町村教育委員会研究協議会での事例発表について報告 ></p>
議 長	<ul style="list-style-type: none"> ・ただいま鹿山委員から報告があったが、ご意見やご質問があればお願いする。
岸田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・報告の中で、国による地方財政措置があったとのことであったが、行田市での対応状況はどうか。
事 務 局	<ul style="list-style-type: none"> ・国からは、補助金という形ではなく普通地方交付税という形で措置されており、国において学級数に応じた標準的な金額を定めている。それらについては、本市でも教育機器のリース料として活用している。 ・つくば市では、国の基準以上に独自に予算を割いて、特に重点的に取り組んでいるものと思われる。
岸田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・機器だけではなく、ソフトのライセンス料や通信料など、教育機器をひとまとめにすると膨大な費用がかかっている。つくば市での事例をみるに、大変費用をかけているものと思われる。
事 務 局	<ul style="list-style-type: none"> ・各自治体の財政状況もあることから、国においても、各市町村が普及的価格で各機器等が導入できるよう議論を進めていると聞いている。

岸田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・また加えて、今後は通信インフラの整備費に活用できる補助金の新設等も検討しているとのことなので、市としてもそうした補助を有効に活用して、教育環境の充実を図っていきたい。
議 長	<ul style="list-style-type: none"> ・各種の教育機器は、子どもたちが自主的に、自由に使えるコミュニケーションツールとしても非常に有効であると感じている。 ・また、最近の教科書では一部にQRコードが記載されており、それを読み取ったうえで学習するなど、そもそも読み取り機器がないと学習できない部分もある。 ・これまでは、平等・公平であることが教科書の大前提であったが、今後は子どもたちのさらなる教育環境充実のために、様々な手段を用いる必要があると感じた。
議 長	<ul style="list-style-type: none"> ・今後整備を進めていく予定の義務教育学校においては、各教室に無線LANを配備するなど、ICT機器の活用を見据えた環境整備を考えていく必要がある。 ・現状、市では南河原小学校、南河原中学校においてタブレット端末を数十台活用しているのみである。 ・今後は、各家庭で使っているタブレット端末を持ち込んで授業に活用したりと、教育機器について総合的な見地から検討する必要があるのではないかと考える。
議 長	<ul style="list-style-type: none"> ・それでは議事に入らせていただく。はじめに、議事の(1)「学力向上策」について、事務局から説明をお願いします。
事 務 局	<p style="text-align: center;">＜資料1により説明＞</p>
議 長	<ul style="list-style-type: none"> ・ただいま事務局から説明があったが、ご意見やご質問があればお願いします。
岸田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・全国学力テストについては、6年生のいつ頃行っているのか。
事 務 局	<ul style="list-style-type: none"> ・6年生の4月中旬頃である。
岸田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・全国学力テストについては、国語の問題に公衆電話に関する問いがあったり、算数の問題に行列を題材とした問いがあるなど、子どもたちの実生活に密着した問題が多いという印象を受けた。 ・だが子どもたちの中には、問題自体の内容がつかめなかったり、読み取ることができない児童もいるように感じている。 ・学力テストの問題をもう一度解かせたり、年間指導計画において

<p>議長</p>	<p>重点的に取り組む事項に、子どもたちに求められている力を身に付けさせる学習方法を反映させるなどの工夫が必要ではないか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ これまでに引き続き、学校、学級で友達と一緒に勉強することの楽しさ、学ぶ楽しさを伝えることを基本として、学力向上につながる方策を考えてもらいたい。 ・ A小学校、B小学校の取り組みでは、子どもたちのやればできる力を育てているものであると感じた。今後は、問題そのものを読み取る力を身に付けさせることも課題である。
<p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各学校の取り組みや委員の意見の中に、学力向上につながるようなヒントがいくつもあるように思う。 <p>事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全国学力テストについては過去の問題も公表されており、再度解かせるなど各学校での授業に活用している。 ・ また、この問題を解くためにはどんな力が必要であるのかを意識し、指導する側としても情報共有を図りながら、先生方も指導を行っている。 ・ 適切な学級経営、落ち着いた環境での授業が、子どもたちの非認知能力育成に大きな効果があると考えている。特に行田市の児童、生徒においては、アンケート調査によると、先生との関係性は全国の平均よりも良好な傾向にあることなど、学習に適した環境となりつつある。
<p>鹿山委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学ぶ楽しさが感じられる学級づくりを進めていくにあたっては、ICTの技術も大いに活用できるのではないか。 ・ 粘り強くやり抜く力が身につくまでには、子どもたち自身の個人差もあるが、食事によっても大きく影響するものであると考えられている。
<p>鹿山委員</p>	<p style="text-align: center;">＜プレゼンテーション資料により、 食事が学力に与える影響等について報告＞</p>
<p>議長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもたちにとって様々な効果のある食事や食材に関しては、学校給食での工夫に活かすなど、今後の参考にしてもらいたい。
<p>大久保委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前回総合教育会議において、全国学力・学習状況調査結果については埼玉県平均を100として表しているのが分かりにくいのと意見があったが、現在市ではこういった形で公表しているのか。 ・ また、結果を公表することによるメリットとデメリットについてはどう考えているか。

事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・単純に全国平均点、埼玉県平均点との比較として市ホームページにおいて公表している。 ・公表することによって、先生自身が自分の学校の立ち位置が分かり、現状の把握が可能となることで、今後の授業改善に活かしてもらえる。一方、先生方の肯定感を阻害することになるという点については注意していきたい。
岸田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・公表したことについては、児童、生徒や保護者には周知しているか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・各学校ごとに周知について対応しているものと考えている。
岸田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・先生方が今後の事業改善につなげていくために、現状を知ることが非常に重要であり、その第一歩を踏み出せたことは大変良いことだと思う。 ・今後は、この結果公表によって5年生、6年生を担当したくないと考えてしまう先生が出ないように、教育現場の実情も踏まえながら配慮していただきたい。
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・公表については、教える側の意識改革、学力向上につなげるための意識づけの一つのきっかけになるものとして、私から検討を指示したものである。 ・近隣自治体でも公表に踏み切っているところもあることから、先生方に現状を知ってもらうということに関して問題はなく、今後良い効果が見込まれるものと考えている。 ・これから公表したことに対する反響があると思われる。しっかりと見極め、分析して次につなげてもらいたい。
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・資料において各学校での取り組みを挙げてもらったが、過去との比較データ等、取り組んだことによる具体的な成果が明示されていないため、現状どう改善したのか全く分からない。客観的にどれだけ点数が上がったのかを把握したうえで、その特色ある取り組みを他学校に波及させていくなどの対応が重要である。 ・また今後継続的に取り組んでいくにあたっては、データの蓄積を図り、分析に活かすことが必要である。 ・学校現場を確認して、子どもたちの授業に対する姿勢を実際に見ることは非常に重要であり、現場を見てわかること、今後活かせることも数多く見えてくる。 ・次回の総合教育会議においては、特色のある取り組みを行ったこ

	<p>とによる具体的な成果をまとめるとともに、改善点や今後の課題、目標値等をしっかりと示してもらいたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・併せて、学力向上の成果が出ている他自治体の特色的な取り組みを、本市の教育改善に活かせる点についても報告してもらいたい。
議 長	<ul style="list-style-type: none"> ・次に、議事の（２）「いじめ対策及び不登校の児童・生徒への対応」について、事務局から説明をお願いします。
事 務 局	<p style="text-align: center;">＜資料２により説明＞</p>
議 長	<ul style="list-style-type: none"> ・ただいま事務局から説明があったが、ご意見やご質問があればお願いします。
議 長	<ul style="list-style-type: none"> ・h y p e r－Q Uやネットパトロールを行ったことで、実際に早期発見につながったいじめや不登校の件数を把握しているか。
事 務 局	<ul style="list-style-type: none"> ・h y p e r－Q Uを行った結果、発見につながった実際の数については把握していない。ネットパトロールを行った結果については、昨年度２３件該当があった。内容としては、単に生徒指導上のものが多かったと認識している。
議 長	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の対応を考えるうえでも、様々な手段を使った早期発見対策については、その具体的な報告をきちんと行ってもらいたい。報告の内容や実態を分析することで、今後の改善につなげられる。 ・さわやか相談員を配置していることから、早期発見を図るうえで、学校内で解決した事例についても報告を求め、共有を図ることが今後のさらなる改善につながるのではないか。
岸田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・行田市いじめ防止・不登校対策事業については、いずれも市独自の取り組みということか。
事 務 局	<ul style="list-style-type: none"> ・市として全体で取り組んでいるものを挙げている。スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの配置等については、県からの補助により行っているものである。
教 育 長	<ul style="list-style-type: none"> ・各学校ではその実態に合わせて、「いじめ防止基本方針」を策定しており、こうした対策に加えて、方針に基づいた独自のアンケート調査等により、子どもたちの学校生活における実態把握に努めている。

議 長	<ul style="list-style-type: none"> ・ いじめについては、今後もその把握に努めるとともに、実態数の報告を随時行ってもらいたい。また、解決した場合はその報告まで行ってほしい。どのように解決したのかを各学校でも共有することで、今後の対策強化にもつながるものと考えている。
岸田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ この総合教育会議については、いじめ対策をさらに推進するという側面から設立されたという経緯もある。 ・ 今後も、子どもたちの命にも関わるいじめ対策については、全庁を挙げて取り組んでももらいたい。
議 長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 例えば、解決が難しい事例を本総合教育会議で取り上げて、参加者全員で解決策を話し合うようなことも可能ではないか。 ・ 発生している問題を追及する場ではなく、課題となっている事案を参加者全員で知恵を出し合いながら話合う場として、総合教育会議を活用してもらいたい。
大久保委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学童においては様々な学年の子どもたちがともに過ごしていると思うが、学童におけるいじめ事案について把握しているか。
事 務 局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今のところ、学童の現場でいじめが発生しているという報告はなく、いじめの事案はないものと認識している。
議 長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学童の先生に任せきりにするのではなく、いじめについても存在しているものだと思って対応してほしい。また、定期的に学童の現場に足を運ぶなど、実際に目で見て、子どもたちに声掛けをしながら現状把握に努めてもらいたい。 ・ 続いて、食事と不登校の関係性について、鹿山委員から報告をお願いします。
鹿山委員	<p style="text-align: center;">＜プレゼンテーション資料により、 食事と不登校の関係性について報告＞</p>
議 長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教育に与える食事の影響も大変重要であると認識している。今後は、学校給食センターとも連携を図りながら、工夫できるのか検討を行ってもらいたい。
議 長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本市の不登校の発生割合はどの程度か。また、全国平均、県平均と比較してどうか。
事 務 局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本市の中学校における不登校者数割合は、平成28年度が3.3%、

議 長	<p>平成29年度が2.9%、平成30年度が3.7%となっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国の平均割合は、平成28年度が3.0%、平成29年度が3.3%、平成30年度が3.6%である。 ・埼玉県の平均割合は、平成30年度のみであるが3.1%となっている。 <p>・不登校対策は、子どもたち一人一人によってその対策方法が異なり、それぞれの環境や内容に応じた適切な個別対応が図られなければならない。</p> <p>・学力向上対策やいじめ対策と同様に、実際に対応した事例の情報共有を図り、対応者同士で相談し合いながら、最適な対応策を見出すことが最も効果的なのではないか。</p> <p>・対応にあたる者全員が、不登校者数割合を3%以下にする、現状から5人不登校者数を減らすという大きな目標をもって、子どもたちの対応にあたってもらいたい。また、実際に解決につながった具体的な対応策や、現在不登校となっているある子に対する対応策をみんなで話し合う場としても、この総合教育会議を大いに活用してほしいと考えている。</p> <p>・課題を認識し合うことも必要だが、その課題をいかに解決に導いていくかという観点から、委員からも多くの意見を聞いたうえで最善策を探っていきたい。</p>
議 長	<ul style="list-style-type: none"> ・次に、議事の(3)「その他」について、事務局から説明をお願いします。
事 務 局	<ul style="list-style-type: none"> ・次回の総合教育会議は、1月下旬から2月上旬に開催を予定している。
議 長	<ul style="list-style-type: none"> ・その他、教育委員の皆様から何かあればお願いします。
飯塚委員	<ul style="list-style-type: none"> ・来年度は、東京2020オリンピック・パラリンピックが開催される。子どもたちの成長にとっても、またとない重要な機会であることから、オリンピック・パラリンピックについて関連教材で学んだり、行田市も聖火リレーのルートとなっていることから、そうしたイベントを活用した教育について検討してもらいたい。
議 長	<ul style="list-style-type: none"> ・オリンピック・パラリンピックを活用した教育について、次回の会議で発表できることがあれば、盛り込んでもらいたい。

議 長	<ul style="list-style-type: none"> ・ それでは、これにて議事を終了する。教育委員の皆様には、スムーズな議事進行にご協力賜り、ありがとうございました。 ・ また、鹿山委員には様々な視点から報告いただきありがとうございました。今後も皆様から忌憚のない意見を多くいただき、子どもたちが学びやすい環境づくりに取り組んでいきたいと考えている。 ・ それでは、これをもって議長の職を解かせていただき、事務局に進行をお返しする。
司 会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 以上をもって、令和元年度第3回行田市総合教育会議を閉会とする。 <p style="text-align: center;">< 閉 会 ></p>